『悠悠映画塾』について

【1】「悠悠映画塾」開催について。

“映画は豊かな人生学校”と言われます。映画をとおして様々な人生や行った事のない地域を知ることができます。この上映会は、映画の鑑賞をとおして皆さまの人生が「今一つ豊かになった」と喜んでいただける事を願って開催します。

【2】お客様の特典サービスについて。

① ポイントによる無料ご招待。

お配りしています『受講証』に参加いただく度に、押印させていただきます。
5回ご参加いただきますと、6回目は、無料招待とさせていただきます。

② 入場料金の優待。

ご案内ハガキご持参の方は、特別料金にご優待いたします。料金は作品により変動いたします。

③ 記念品のプレゼント

ポイントカードを3枚目に更新される時にファイルをプレゼントいたします。

【3】上映会場について。

主として、県民文化センター小ホールや、ひたちなか市文化会館小ホールを会場としますが、予約状況などにより、別会場になる場合もあります。

【4】会場へのご入場について。

上映会場は一般のチケット購入の方もご入場されます。席は全て自由席です。
先着順にご入場いただきますが、定員数を越えてご入場いただく事は消防法により禁じられておりますので、満席になりました場合は、別の時間にご入場いただくことになります。予め、ご了解ください。

【5】上映会期日のご案内について。

上映会のお知らせにつきましては下記の方法をとらせていただきます。

①「よみうりタウンニュース」紙上等での上映案内。

②すでに映画センターにお名前、ご住所が登録されている方（今回の上映のお知らせが直接届いた方）には、チラシ郵送による案内。

③本日のアンケートの住所・氏名欄にご記入いただいた方で、今回初めてご記入いただいた方は、新たに登録させていただき、次回分より優待付案内状をお送りさせていただきます。

④茨城映画センターのホームページ上の上映スケジュール

【6】お知らせいただいた情報の使用について。

お知らせいただきました、皆様の住所、氏名等の情報につきましては、上映情報の提供等、「悠悠映画塾」の運営を充実させる目的以外には使用いたしません。

【ご意見・ご要望は】

『悠悠映画塾』事務局（茨城映画センター） 〒310-0064水戸市栄町1-10-13
TEL 029-226-3156(平日10:00～17:00)　E-MAIL　eiga-c@ibaraki-eiga.co.jp
ホームページアドレス [www.ibaraki-eiga.co.jp]

第130回悠悠映画塾



2026年11月24日（火）ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール

（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

開演時間／①午前10:30～　②午後2:00～　【開場各30分前・上映時間109分・字幕付】

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局　℡：029-226-3156）詳細は裏面をご覧下さい。）

●協　力● 茨城県ユニセフ協会



圧倒的な熱量で生き抜いた五代友厚を演じるのは主演・三浦春馬!!

混沌と不安の時代に問う、新たなる青春群像劇が誕生!

激動の幕末から明治初期、日本の未来のために駆け抜けた男がいた ── 五代友厚(ともあつ)

武士の魂と商人の才を持つこの男、薩摩藩士から明治政府役人を経て実業家となり、今日に続く商都大阪の基礎を作り上げた。**東の渋沢栄一、西の五代友厚**とも評される功績を挙げながらも、長らく歴史に埋もれていた。近年、多くの人の研究により、その真価が再認識される。**「実もいらぬ、名もいらぬ、ただ未来へ…」**とひたすら大いなる目標に向かったその志と熱い思いが、時代を超えて今、解き放たれる ──。**圧倒的な熱量で生き抜いた五代友厚を演じるのは主演・三浦春馬。**大胆な発想と行動力、そして冷静且、緻密さと優しさを持つ、このミステリアスでさえある人物像をかつて見たことのない迫力と重厚な演技で体現した。取り囲む盟友の**坂本龍馬を三浦翔平。**豪傑なエネルギーで演じ、新しい龍馬像を切り開いた。龍馬と共に現れ後に三菱財閥を築く**岩崎弥太郎を、愛嬌たっぷりの西川貴教。**そして初代内閣総理大臣となる**伊藤博文の若かりし頃を、フレッシュな森永悠希。**意表を突くキャスティングが、その斬新さと俳優陣の息のあった演技で魅せた。更に**五代友厚の両親として、生瀬勝久と筒井真理子**が脇を固め、薩摩の上級武家の品位と葛藤を表す。一方五代友厚の繊細さや優しさを引き出したのが、**遊女はる役の森川葵。**自由な未来を夢見る。はかなくも強いその姿は、現代を生きる女性の象徴でもある。また五代友厚の志のよき理解者が、**蓮佛美沙子演じる妻・豊子。**取り巻く女性達もまた、時代の渦の中で五代友厚に重ねた己の人生を全うする。豪華キャストに日本の歴史を鮮やかに彩る偉人・傑物達を絶妙に配役、かつ"扇の要＝五代友厚"に、三浦春馬を据えることで、**"予測不能なドラマの連続で今も眩しく輝き続ける"**五代友厚の熱過ぎる人生を、近代日本の夜明けと共に、**瑞々しく壮大な青春群像劇として描き、満を持して世に贈り出す。**

市民有志が立ち上げた「五代友厚プロジェクト」7年かけて悲願の映画化!

脚本 小松江里子×監督 田中光敏、映画界の名コンビが贈るオリジナルストーリー!






本作の企画スタートは2013年。五代友厚の「想い」と「志」を次世代に継承するために製作総指揮の廣田稔をはじめ、市民有志が立ち上げた「五代友厚プロジェクト」が映画化に向けて尽力。長い歳月を経てついに悲願の映画公開が実現した。また脚本・小松江里子（NHK大河「天地人」）と監督・田中光敏は、これまで『利久にたずねよ』(13)『海難1890』(15)を共に生み出した名コンビ。五代友厚の壮大なスケールを現代に体現するべく、入り組んだ時代背景と膨大な関連人物の中からオリジナルストーリーを誕生させた。

ものがたり

江戸末期、ペリー来航に震撼した日本の片隅で、新しい時代の到来を敏感に察知した若き二人の青年武士が全速力で駆け抜ける一。五代才助（後の友厚、三浦春馬）と坂本龍馬（三浦翔平）。二人はなぜか、大勢の侍に命を狙われている。日本の未来を遠くまで見据える二人の人生が、この瞬間、重なり始める。攘夷か、開国か一。五代は激しい内輪揉めには目もくれず、世界に目を向けていた。そんな折、遊女のはる（森川葵）と出会い「自由な夢を見たい」という想いに駆られ、誰もが夢見ることのできる国をつくるため坂本龍馬、岩崎弥太郎（西川貴教）、伊藤博文（森永悠希）らと志を共にするのであった一。



三浦春馬　三浦翔平　西川貴教　森永悠希　森川葵
迫田孝也　宅間孝行　丸山智己　徳重聡　榎木孝明　筒井真理子　内田朝陽　八木優希　ロバート・アンダーソン　かたせ梨乃　／　蓮佛美沙子　生瀬勝久

監督：田中光敏　脚本：小松江里子　音楽：大谷幸　製作総指揮：廣田稔　プロデューサー：近藤哲　共同プロデューサー：石原田秀一 毛利万里　アソシエイトプロデューサー：岡村隆史 中本敦士　撮影：由本浩太郎　美術：原田哲男
照明：香川一郎　録音：松本昇和　編集：川島章正　助監督：増田伸弥　演出補佐：松尾浩道　スクリプター：松澤一美　衣装：大塚満 千代田圭介 濱中美衣　装飾：郷原慶太 中込秀志　キャスティング：空閑由美子 小林勝絵　VFXスーパーバイザー：長谷川靖　ラインプロデューサー：紙川元宏
配給統括：宮崎聡　宣伝プロデューサー：中村隆真　題字：紫舟　映画「五代友厚」製作委員会：五代友厚プロジェクト 廣田稔法律事務所 鹿児島テレビ放送 奈良新聞社 EQWELチャイルドアカデミー 日本フォーラム エリアワンエンタープライズ 川口建 岩崎産業
協賛：Panasonic. 長谷工グループ 株式会社ブルーキャピタルマネジメント 有限会社一番商店 株式会社アベストコーポレーション IL Sueno di Emilia ㈱
後援：奈良県磯城郡田原本町 ㈱　制作協力：松竹撮影所　制作プロダクション：クリエイターズユニオン　配給：ギグリーボックス

五代友厚像建立を記念する11月。
私たちの誇り・三浦春馬が全身全霊で駆け抜けた「天外者」を、スクリーンでもう一度。

前売券 1,200円　発売予定日／10月 21日～（販売所により発売日が異なる場合があります。）
（当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は 1,100 円）

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10：00～午後5：00）

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※上記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

第131回悠悠映画塾

令和8年熊本地震　復興支援上映会

“お終活”シリーズの決定版にして、まさかの感動作!?



映画も、人生も、クライマックスが一番オモシロイ!

お終活3

幸春! 人生メモリーズ

作・監督：香月秀之　　主題歌：さだまさし「神さまの言うとおり」（ビクターエンタテインメント）

高畑淳子
剛力彩芽
松下由樹
水野勝
西村まさ彦
藤吉久美子
LiLiCo
三田佳子
勝俣州和
彦摩呂
袴田吉彦
藤原紀香
石橋蓮司
小日向文世
橋爪功

製作：神谷哲治　米澤義一　米澤誠　櫻井一貴　永森裕二　海老澤雅一　竹田太郎　一藤泰樹　藤原信幸　策定力
製作幹事：竹田太郎　企画・プロデュース：櫻井一貴　脚本：香月秀之　遠辺典子　音楽：MOKU
プロデューサー：川田亮　安久慎一　アソシエイトプロデューサー：渡邊健太郎　キャスティングプロデューサー：福岡康裕
撮影監督：松尾誠　照明：小野村拡洋　美術：西沢和幸　録音：渡辺丈彦　編集・VFX：人見健太郎
スクリプター：瀧澤ゆき　ヘアメイク：泉宏幸　衣裳：松下麗子　助監督：富田卓　製作担当：緑樹尚映
ラインプロデューサー：菅沼公明　宣伝プロデューサー：横手実　宣伝：下ノ村真由美　小野典子　スチール：土持幸三
デザイン：尾野正人　記録営業統括：根本真麻　劇中コーラス：柏プリムラ・エ・コール　堂ミナミ男声合唱団
製作委員会：神谷商会　ドゥ,ヨネザワ企業グループ　フレッシュハーツ　AMGエンタテインメント　グローブホーム
フォワード　一柳葬具緯本店　イオンエンターテイメント　TK事業開発研究所
特別協賛：一柳葬具緯本店　メガネの日本堂　KOYONEZAWA CORPORATE GROUP　JOYSOUND　Flare Dust Technologies, Inc.　kikippa
協賛：テレビ熊本　中電クラビス　いきいきライフ協会名古屋　川崎会計事務所　日本コミュニティケア　葉隠山 梅林寺
ZERO PLUS　宇坪ファイナンシャル　マジュニア　えがお　真心ジャパン　コスギ不動産ホールディングス
スペシャルサンクス：田中タキ（IZA）　バリアフリー版協力：HELLO! MOVIE　バリアフリーシアターエイムing
企画・製作プロダクション：フレッシュハーツ　配給：イオンエンターテイメント

G 映倫 25277-A

公式HP
oshu-katsu.com/3/

2026/日本/115分/5.1ch/カラー/ビスタサイズ/デジタル　©2026「お終活3」製作委員会

2026年12月18日（金）ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール

（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

開演時間／①午前10:30～ ②午後2:00～ 【開場各30分前・上映時間115分・字幕付】

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局 TEL：029-226-3156） 詳細は裏面をご覧下さい。）

●協　力● 茨城県ユニセフ協会



観ればきっと、明日が楽しみになる。

高畑淳子 × 橋爪功 × 三田佳子 × 小日向文世
笑って、泣けて、役に立つ『お終活』シリーズ第3弾!

『お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方』(2021)、第2弾『お終活 再春！人生ラプソディ』(2024) と続く、大ヒットシリーズ『お終活』。ついにシリーズ決定版となる『お終活3 幸春！人生メモリーズ』が登場！



ついに大原家の長女が結婚!? 誰しもに訪れる老いと別れ

大原真一(橋爪功)と千賀子(高畑淳子)夫妻の長女・亜矢(剛力彩芽)がついに婚約者・涼太(水野勝)と結婚を決意する。しかし結婚式直前、亜矢の何気ない一言が二人の関係に亀裂を生み、両家を巻き込む大騒動へと発展する。一方、真一の後輩である加藤博(小日向文世)は、母・加藤豊子(三田佳子)の認知症が進んでいくことを受け入れられず、つい強い言葉で接してしまう。そんな博に千賀子は「認知症でも、心は忘れてない」と語りかける ——。





記憶を分かち合う、家族の幸せ

松下由樹、西村まさ彦、藤原紀香、石橋蓮司、藤吉久美子、LiLiCo、勝俣州和、袴田吉彦らおなじみの面々が再び集い、名優たちが新たな深みと感動を注ぎ込む。三田佳子は、記憶の霧の中でも愛を手繰り寄せようとする母を、胸に迫るほど繊細に演じ、小日向文世は、その母を支える息子の揺れる心を悩みながらも抱きしめるように表現し、二人の時間に切なさと温もりを刻む。高畑淳子と橋爪功は、本物の夫婦さながらの掛け合いで、物語に優しい余韻を添え、過去と今が重なり、家族の想いがそっと息づく。そして名優たちの競演が生む一瞬一瞬が、静かな涙を誘う。



令和 8 年熊本地震　復興支援上映会

●本上映会では、被災地支援のため、会場に募金箱を設置いたします。
●入場料の一部を、映画製作委員会を通じて被災地支援のために寄付いたします。
皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

前売券 1,200円　発売予定日／11月17日～(販売所により発売日が異なる場合があります。)
(当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は 1,100 円)

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
(土・日・祝日を除く 午前10：00～午後5：00)

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※上記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

第132回悠悠映画塾

平行と垂直

heikou to suichoku

ずっと、
ふたりで生きてきた



安田章大

のん

伊島空　高山トモヒロ　谷村美月　福田転球　芦川誠　早織　久保田磨希
河野咲良　高田幸季　武藤凪　林英世／神野三鈴　菅原大吉

障がいのある兄とともに歩んできた妹――
妹の婚約を機に、ふたりが踏み出す新しい一歩

監督：小林聖太郎
原案・脚本：山野海　音楽：富貴晴美　主題歌：浮 with 安田章大「話そう」

企画：安田章大　企画プロデュース：佐藤現　プロデューサー：榎崎秀明　竹下新悟
撮影：大塚亮　照明：藤井勇　美術：須坂文昭　録音：西條博介　スクリプター：川野恵美　編集：宮島竜治
スタイリスト：山崎忍　ヘアメイク：山井優　助監督：木川学　製作担当：土田守洋
キャスティング：伊藤尚哉　宣伝プロデューサー：丸山杏子　ASD監修：辻井正次　伊庭葉子　浮貝明典
製作：「平行と垂直」製作委員会
（東映ビデオ、アスミック・エース、メディアブルボ、中京テレビ、テレビ大阪、ストームレーベルズ、ローソン、東映シーエム）
取材協力：さくらんぼ教室、NPO法人アスペ・エルデの会、NPO法人PDDサポートセンターグリーンフォーレスト
特別協力：大阪府堺市　後援：日本発達障害ネットワーク、日本自閉症協会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会
制作プロダクション：セントラル・アーツ　製作幹事・配給：東映ビデオ

8.28 FRI
ROADSHOW

2026年／日本／118分／5.1ch／ヨーロピアンビスタ／カラー／デジタル
©2026「平行と垂直」製作委員会

toei-video.co.jp/heikoutosuichoku/

2027年1月22日（金）ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール
（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

開演時間／①午前10:30～ ②午後2:00～ 【開場各30分前・上映時間118分・字幕付】

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局 TEL：029-226-3156） 詳細は裏面をご覧下さい。





兄と妹、それぞれの“これから”が交差するとき 浮かび上がる、お互いを想う気持ち

兄と妹は、まるで“平行”と“垂直”。交わらないようで、確かに支え合って立っている――。『平行と垂直』は、自閉スペクトラム症の兄・大貴と、結婚を控えた妹・希が、人生の節目にそっと触れ合いながら、自分たちの“これから”を見つめ直す物語だ。清掃の仕事に就き、周囲のサポートを受けながら自立した生活を送る大貴（安田章大）。カウンセラーとして働きつつ、兄を支えることを当たり前としてきた希（のん）。変わらないと思っていた日常は、希の結婚話をきっかけに静かに揺れ始める。支えてきたつもりの妹、支えられていると思っていた兄。ふたりは初めて、お互いの存在がどれほど自分を形づくってきたのかに気づいていく。人生の転機は、過去と未来の両方を照らし出す。そこに浮かび上がるのは、言葉にしなくても確かに続いてきた“きょうだい”の絆だ。






安田章大、初の企画作品で光る 俳優たちの誠実な演技と確かな演出

企画段階から参加した安田章大は、山野海によるオリジナル脚本に深く心を動かされ、大貴役に真摯に向き合った。専門家のレクチャーを重ね、丁寧に役を掘り下げたその姿勢は、作品の核となる“人を想うこと”の真実味を支えている。一方、希を演じるのんも、実際に障がいのあるきょうだいを持つカウンセラーから話を聞き、役に息を吹き込んだ。監督は『毎日かあさん』、『マエストロ!』などで温かな人間ドラマを紡いできた小林聖太郎。大阪・堺を舞台に、ささやかな日常の中に潜む“支えること／支えられること”の揺らぎを、やわらかく、確かな眼差しで描き出す。そして、物語を締めくくるのは、安田章大が推薦した浮（ぶい）による書き下ろしの主題歌「話そう」。安田章大もコーラスに参加し、これからも続いていく日々に余韻を残す。忘れがちな思いやり、気づかぬうちに交わしている優しさ。本作は、そんな日常の奥にある小さな光をそっとすくい上げる。胸が温かくなる今年最高の感動作。



前売券 1,200円　発売予定日／12月21日～（販売所により発売日が異なる場合があります。）
（当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円）

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00）

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※上記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

第133回悠悠映画塾



長澤まさみ　髙橋海人　大谷亮平　篠井英介　奥野瑛太　寺島しのぶ　永瀬正敏
和田光沙　吉岡睦雄　早坂柊人　笠久美　一華　小林千星

監督・脚本：大森立嗣　原作：飯島虚心「葛飾北斎伝」(岩波文庫刊)／杉浦日向子「百日紅」(筑摩書房刊)より「木瓜」「野分」

製作幹事・制作プロダクション：東京テアトル　ヨアケ　製作：「おーい、応為」製作委員会　配給：東京テアトル　ヨアケ

東伝ビジュアル用配信素材、太田記念美術館、すみだ北斎美術館 / ONPerson、千葉市美術館蔵　©2025「おーい、応為」製作委員会

もう一人の天才・葛飾応為の謎多き人生。光と闇を描いた彼女が照らし続けたのは——





2027年2月25日（木）ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール
（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

開演時間／①午前10:30～　②午後2:00～　【開場各30分前・上映時間122分・字幕付】

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局　℡：029-226-3156）詳細は裏面をご覧下さい。）

●協　力● 茨城県ユニセフ協会